

第70回大阪府中学校総合体育大会ラグビーフットボールの部 及び

平成28年度大阪選手権兼近畿大会予選ラグビーフットボールの部 実施要項

1. 期 日

◎第70回大阪府中学校総合体育大会ラグビーフットボールの部(以下 春季総体と表す。)

男子の部：2016年5月14日(土)～6月18日(土)

女子の部：2016年5月28日(土)・6月18日(土)

◎平成28年度大阪選手権兼近畿大会予選ラグビーフットボールの部(以下 大阪選手権と表す。)

男子の部：2016年9月17日(土)～10月15日(土)

【参加チーム数によって、9月10日(土)～の場合あり】

◎平成28年度大阪選手権ラグビーフットボールの部(以下 大阪選手権と表す。)

女子の部：2016年10月1日(土)・15日(土)

2. 場 所

J-GREEN堺、東大阪市立花園中央公園多目的球技場(トライスタジアム)、各中学校グラウンド 他

3. 競技規則

男子の部の試合は、日本ラグビーフットボール協会制定のジュニアラグビー競技規則に準ずる。女子の部の試合は、関西女子中学生ラグビーフットボール大会の競技規則に準ずる。以下のルールについては申し合せ事項として確認します。

◎第1条 競技場

「タッチラインとタッチラインの間を70m以内とする。」となっているが、会場が各中学校の場合、70mのとれるグラウンドが少ないと思われる。その場合は、その会場の広さで実施する。

◎第3条 プレーヤーの人数

●男子の部

「前後半で4名の交代を行うことを原則とする。」については、「戦術的交替は10名以内で認める。」に変更する。

なお、選手交替(戦術的・負傷)は本部を通じて行う(記録係・レフリーに連絡)。各チームは、試合進行の妨げにならないように配慮する。

また、登録選手の人数は先発選手で12名、リザーブ選手10名の22名以内とする。

また、交替により出場した選手がケガなどで退場した場合に、交替選手がいなくなった場合にのみ、再出場してもよい。

○12人しかいないチームで負傷者が出て退場したときの試合の進め方について

- ・キックオフの時点で12名そろっていない場合は、試合は認められない。ただし、何らかの理由で欠員が出て、相手チームも練習試合と認めた場合は、双方の話し合いで安全に留意して行う。
- ・負傷退場で11人になったチームが勝った場合でも、試合は成立する。ただし、次の試合が12名そろわない場合は不戦敗とする。
- ・スクラムは5名で組むこととする。
- ・問題が発生した場合は、規律委員会で処理する。

●女子の部

登録選手の人数は先発選手で7名、リザーブ選手5名の12名以内とする。

◎第5条 試合時間

●男子の部

すべての試合において、20分ハーフで行う。ロスタイムについては、使用するグラウンドの状況等により規定する。

●女子の部

すべての試合において、7分ハーフで行う。(ハーフタイムは1分以内)

◎その他

- ・退場は極力さける。(シンビンは5分以内とする)
- ・治療による一時交替は、出血以外のケガについても認める。
- ・3ボール制で行う。ただし、両校協議の上、チーム事情により3ボール制をおこなえない場合は、1ボール制で行う。
- ・3ボール制でおこなう場合は、使用ボールを試合前にレフリーが確認する。(ボールの空気圧に注意すること)
- ・女子は、男子の部の試合に参加することは、できない。

4. 試合方法

●男子の部：トーナメント方式

- ・春季総体については、各地区代表16チームによる。(全チーム数に対する各地区チーム数の比例割)
[大阪市地区8チーム、北河内地区3チーム、三島・豊能地区2チーム、中河内・南河内・泉北・泉南地区3チームの計16チームとする。]
ベスト8のチームが大阪選手権におけるシード権を得る。
- ・大阪選手権については、オープン出場で、3ブロックに分けて行い、優勝チームが近畿大会の出場権を得る。1回戦については、同じ地区同士の対戦は避ける。(チーム数により、この限りではない場合も考えられる。)

●女子の部：チーム数によりトーナメント方式、又は、リーグ戦

- ・2・3年生のチーム部、1年生のチーム部を行う。

◎同点の場合、優勝決定戦においては両校優勝とする。次回の出場チームは、次の方法で決定する。

1. トライ数の多い方
2. トライ後のゴール数の多い方
3. 抽選

5. 参加資格

●男子の部

- ① 参加チームは、大阪中学校体育連盟に参加していること。
 - ② 参加申込書に記入の上、各所属長の記名、捺印をして、提出すること。
[参加申込書、メンバー表はA4判の大きさを別紙(1)～(4)の様式であれば結構です。]
 - ③ 試合当日、必ずその日のメンバー表を本部に提出すること。
- ※春季総体では、安全面を考慮し一年生の大会参加は認めない。

※コンバインドチームの参加について

地域大会を勝ち抜いてきたチームを原則とする。したがって地域大会で参加を認められていなければ、いずれの大会への参加も不可能となるので、各地域に配慮を願いたい。

ここでいう地域とは、大阪市、北河内、三島・豊能、中河内・南河内・泉北・泉南のことである。また、地域で単独のチーム同士で試合が行えない場合は、その地域内でコンバインドチームを編成し、地域の代表とすることも認める。

コンバインドチームの本来の目的は、日々練習を行っているが部員不足のため、公式戦への参加ができないチームに対して、公式戦参加の可能性を開くものであり、単独チームや一個人に複数のチャンスを与えるものではない。

これらのことを踏まえて、コンバインドチームの編成については、以下のことを留意すること。

1. コンバインドチームは、同地域内(大阪市、北河内、三島・豊能、中河内・南河内・泉北・泉南)のチーム同士の混成とし、地域の了承を得ること。
2. コンバインドチームは、単独チームで試合に参加できないチーム(基本的に部員が11名以下のチーム)同士の混成とする。これらの編成は3校以上によるものでもよいが、一個人が複数のコンバインドチームに所属することは認めない。
3. コンバインドチームは、チーム名をつくり、コンバインドチーム用の参加申込書に記入・捺印の上、提出すること。
4. コンバインドチームが、大阪府中学校総合体育大会でシード権をとっても、大阪選手権兼近畿大会予選のシード権を与えない。その分は、オープンで抽選を行う。

●女子の部

- ① 参加チームは、大阪中学校体育連盟に参加していること。
※ただし、所属長が認めた場合、参加できる。
- ② 参加申込書に記入の上、各所属長の記名、捺印をして、提出すること。
[参加申込書、メンバー表はA4判の大きさを別紙(5)～(8)の様式であれば結構です。]
- ③ 試合当日、必ずその日のメンバー表を本部に提出すること。
- ④ コンバインドチームは、単独チームで試合に参加できないチーム(基本的に部員が6名以下のチーム)同士の混成とする。

6. 表彰

優勝チーム・準優勝チーム・第3位チーム(大阪選手権については、各ブロックに対して表彰する。)

◎大会参加の留意点

1. 健康管理について

- ①大会参加にあたっては、健康診断を受けるなどして、選手の健康管理に十分留意すること。
- ②大会中(試合中、及び移動中)に発生した負傷については、日本スポーツ振興センターを利用して治療を受けること。入院を必要とするような大きな怪我が起こった場合は、会場責任者が専門委員長に連絡すること。
- ③参加チームは、必ず責任ある教職員が引率すること。

2. 試合会場について

- ①試合会場には、遅くとも1時間前には到着すること。
- ②試合参加の手続きとして、メンバー表に、男子の部は、12～22名を記入、女子の部は、7～12名を記入し、試合30分前までに顧問が直接本部に提出すること。その際に、チームのメンバーは安全チェックを受け、トス(試合の間隔が短いとき)、試合上の注意を受ける。また、参加申込書と、当日のメンバーの照合を受ける。
- ③各試合会場の注意事項については、別途規定する。
- ④基本的に、ベンチのあるタッチラインからハーフウェイラインを見て、トーナメント表(決勝戦を上にして)と同じ側を、そのチームのベンチとする。

3. 注意事項

- ①顧問、または、代理教職員の付き添いがない場合は、相手チームの勝ちとする。付き添いがなく、試合を行った場合は、試合を没収する。
- ②会場は、学校指定の服装か、クラブ指定の服装で来ること。指定がない場合は、中学生らしい服装で来ること。
- ③キックオフの30分前に更衣を終え、準備体操を入念にし、事故がないように留意すること。
- ④試合の服装については、清潔で安全なものを着用する。特に、スパイクのスタッドの整備や爪の手入れはきちんとしておくこと。爪切りについては、各チームで準備すること。
- ⑤ヘッドキャップは、必ず着用し、破損に備えて予備を準備すること。短パンについても予備は準備すること。
- ⑥タッチジャッジは、レフリーが信頼し得る人を当てること。タッチフラッグもしくはそれに代わるものを準備すること。
- ⑦試合中、無用の発言は厳に慎むこと。応援者の言動にもチームが責任を持つこと。
- ⑧試合中、顧問・コーチはベンチサイドで観戦すること。
- ⑨メディカルサポーター制度については、会場当番の中からも出すが、各チームからも随時グラウンドに入って、治療にあたってよい。また、給水についても、各チーム2名以内の給水係(ゼッケン着用)は随時グラウンドに入っても良い。その他の給水は、グラウンドに入らない限りは可能とする。
- ⑩各顧問は、トーナメント表等に、レフリー・アシスタントレフリー・記録係等を指名してありますので、必ず確認・遂行のこと、なお、遂行できない場合は、必ず代理人を見つけ、大会運営上支障をきたすことのないようにすること。
- ⑪プレーヤーはマウスガードを必ず装着しなければならない。(平成25年度より完全実施、義務化。)

4. 棄権・変更する場合

- ①抽選会後に棄権・変更する場合は、以下のような手順を踏む。
 - A, 専門委員長に理由を含めて連絡をする。
 - B, 競技委員長に連絡をする。
 - C, 相手校に連絡をする。
 - D, 審判に連絡をする。
 - E, 試合日の会場責任者に連絡をする。
- ②試合日が変更できる場合
 - A, 学校行事と重なった場合。
 - B, 学校行事後、1日か2日しかあいていない場合。
- ③試合日程を変更する場合は、変更側の学校顧問が競技委員長・審判委員長に連絡の上、原則として、変更側の顧問が、相手校と協議の上、以下のようにする。
 - A, 日程を決定する。
 - B, 試合会場を決定する。なお、試合会場が有料の場合は、使用料は両チームで負担する。
 - C, レフリーに連絡をする。なお、レフリーの都合が見つからない場合は、別の人を見つける。
 - D, 以上のむねを、競技委員長・審判委員長・当日の会場校責任者・当日のレフリーに連絡をする。
- ④同じ日の同一会場で、棄権または試合日の変更等で、試合が抜けた場合、以降の試合時間を繰り上げて行うことを原則とする。

5. 無断で棄権した場合

- ①次年度の中体連主催の試合に出場できないこととする。
- ②審判、及び相手校の交通費23名分(選手22名、引率者1名)を支払う。

6. 各会場での準備・後片付け、及び、使用上のマナーについて

- ①試合会場の準備については、複数のチームで担当する。なお、準備にあたったチームは、1時間前にラインを引き、グラウンドの整備を行うこと。
- ②後片付けにあたっているチームは、会場責任者の指示を受ける。
- ③各チームの試合後、紙屑、テーピングのテープ、また、各チームが持ってきたもの、使用したもの全体的の後始末をして帰ること。原則として、各チームが出したゴミは持ち帰ること。

7. 天候不良の場合

①試合当日が休日の場合、第1試合の3時間前に大阪府内いずれかで台風に伴う警報（暴風・大雨・洪水のうちいずれか一つでも）が出されている場合は、その日の試合を中止とし、延期する。また、試合中に台風に伴う警報が出された場合は、次の試合より中止とし、延期となる。延期された試合は、後日行い、日時・場所については、改めて連絡を入れる。

②落雷時における試合の運営については、以下のようにする。

◎ 試合の中断、再開について

- 雷鳴が聞こえ、落雷の危険を感じた場合、グラウンド責任者はレフリーに試合の中断を告げ、試合を一時中断させる。または、試合のウォーミングアップをしているチームがあれば、それも中断させる。その後全員、屋根のあるところ等に避難させる。
- 落雷の危険が去ったと判断した場合、グラウンド責任者は試合の再開をレフリーに告げ、試合を再開させる。その際、グラウンド責任者は試合再開の時刻を告げる。ただし、15分以上のウォーミングアップの時間をあたえること。
- 1時間ようすをみて、回復が望めない場合は、その試合を中断し、後日再試合とする。また、それ以後の試合を延期する。具体的な日時と場所は後日連絡する。


◎ 再試合、および試合の成立について

- その日のうちの再試合については、中断した際の得点を有効とし、残り時間分の試合を行う。ロスタイムもとる。
- その日のうちに再開が無理であった試合については、中断した際の得点を有効とし、残り時間分（ロスタイムを含む）の再試合を行う。

☆ ただし以下の場合、中断された試合であってもノーサイドとして、再試合は行わない。

- ・前半終了時で40点以上の差がある場合。
- ・後半 5分経過時で35点以上の差がある場合。
- ・後半10分経過時で25点以上の差がある場合。
- ・後半15分経過時で15点以上の差がある場合。

8. 参考資料

<p>「脳震盪／脳震盪の疑い」簡易判断表</p> <p>1. 「脳震盪／脳震盪の疑い」の所見 頭部、顔面、頸部、あるいは、ほかの部位への衝撃の後で、以下の所見がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意識消失 ・ぼんやりする ・嘔吐 ・不適切なプレーをする ・ふらつく ・反応が遅い ・感情の変化（興奮状態、怒りやすい、神経質、不安） <p>2. 「脳震盪／脳震盪の疑い」の症状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭痛（プレーを続けることができない程度） ・ふらつき ・霧の中にいる感じ ・以下の質問に正しく答えられない（見当識障害・記憶障害） <p><input type="checkbox"/> 自分のチーム名を言いなさい。 <input type="checkbox"/> 今日は何月何日ですか？ <input type="checkbox"/> ここはどここの競技場ですか？ <input type="checkbox"/> 今は、前半と後半のどちらですか？</p>	<p>3. バランステスト</p> <p>「利き足でないほうの足を後ろにして、そのつま先に反対側の足の踵をつけて一直線上に立ってください。</p> <p>両足に体重を均等にかけ、手を腰にして、目を閉じて20秒間じっと立っててください。もしバランスを崩したら、目を開けて元の姿勢にもどして、また、目を閉じて続けてください。</p> <p>20秒間で、6回以上バランスを崩したら（下記のようなことがおこったら）、退場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手が腰から離れる ・目をあける ・よろめく ・5秒以上、元の姿勢にもどれない 
--	--

（ただし、マッチドクターがいる場合は、その指示に従う。いない場合は、レフリーの指示に従う。）